

都市再生整備計画

とよかわえきしゅうへんちく
豊川駅周辺地区

あいち とよかわし
愛知県 豊川市
令和6年3月(当初)

| 事業名 | 確認 |
|-------------------------|-------------------------------------|
| 都市構造再編集集中支援事業 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金) | <input type="checkbox"/> |
| 都市再生整備計画事業(防災・安全交付金) | <input type="checkbox"/> |
| まちなかウォークアブル推進事業 | <input type="checkbox"/> |

目標及び計画期間

様式(1)-②

| | | | | | | | |
|-------|-----|------|-----|-----|---------|----|----------|
| 都道府県名 | 愛知県 | 市町村名 | 豊川市 | 地区名 | 豊川駅周辺地区 | 面積 | 681.3 ha |
|-------|-----|------|-----|-----|---------|----|----------|

| | | | |
|------|--------------------|------|--------------------|
| 計画期間 | 令和 6 年度 ~ 令和 10 年度 | 交付期間 | 令和 6 年度 ~ 令和 10 年度 |
|------|--------------------|------|--------------------|

目標

- 大目標:にぎわいのある安全で安心な住み続けられるコンパクトなまちづくり
 目標1 中心拠点にふさわしい、コンパクトで魅力あふれる都市空間の形成
 目標2 安全・安心に暮らし続けられる生活環境づくり
 目標3 にぎわいの創出に資する基盤整備の実施

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
 豊川市立地適正化計画(平成29年2月策定、令和3年3月改定)

【都市の将来像】

歴史・文化・自然が息づき 人とまちが輝き続ける持続可能な都市

【まちづくりの方針】

○都市機能の集約に向けた方針

- (1)鉄道の利便性を活かし、主要な鉄道駅周辺へ必要な都市機能を配置 (2)全ての市民の生活を支え、多世代の交流を促進する都市機能を配置
 (3)周辺拠点との連携による機能補完も含め、必要な都市機能を効率的に確保

○居住の誘導に向けた方針

- (1)都市機能が集積した生活利便性の高い拠点周辺の市街地に人口が集積したコンパクトなまちを形成 (2)市民等の多様な居住意向に対して市内で居住地の選択が可能なまちを形成
 (3)自然災害に対し安全な地域への居住を誘導

○拠点との交通ネットワークの充実にに向けた方針

- (1)本市の公共交通軸を形成する鉄道4路線について、高い利便性を維持 (2)地域のニーズや需要に即したメリハリのある効率的な公共交通体系を形成
 (3)拠点間を連絡する幹線道路ネットワークの形成・生活道路の安全と快適性を確保 (4)誰もが安全・快適に移動できる交通環境を確保

○活力のにぎわいの創出に向けた方針

- (1)市内外からの交流人口の拡大による雇用機会を創出することで地域経済の活性化を図る (2)通勤しやすい居住地を確保 (3)多様な交通手段により移動可能な広域交通環境を形成

まちづくりの経緯及び現況

本地区は、豊川市立地適正化計画の中心拠点の一部である豊川地区とその周辺部である。

本地区は、都市計画道路姫街道線が東西に、都市計画道路中通線及び前芝豊川線が南北に貫き、幹線道路網を形成している。

公共交通として、名鉄豊川線及びJR飯田線を有し、名鉄豊川稲荷駅、JR豊川駅の2つの鉄道駅を有している。また、豊橋市や新城市を結ぶ路線バスが走り、当該地区を拠点に郊外へのコミュニティバス網が形成されている。JR豊川駅及び名鉄豊川稲荷駅は、ピーク時には、上下あわせ約20本/時の列車が発着する本市の中心的な駅である。

本地区は、日本三大稲荷の一つである豊川稲荷の門前町として古くから商店街が形成され、観光のまちとして発展してきた地区であり、あわせてJR豊川駅と名鉄豊川稲荷駅を有していることから、本市の玄関口としての機能を持っている。豊川駅東側は交通の便に恵まれたところでありながら、住・商・工の混在した土地利用に加えて、所々に農地も点在している状況であるため、平成7年度から土地区画整理事業を実施している。

これまでも都市再生整備計画やその他の事業により都市基盤整備及び中心市街地の活性化を図ってきたが、コンパクトシティの推進のためには、引き続き、基盤整備及び中心市街地活性化事業が必要である。

課題

- ・安全・安心に関する事業を推進し、都市の魅力を向上させ、定住人口の増加を図る必要がある。
- ・健康や子育てのしやすさに配慮した住みよい地域づくりを推進し、地域住民が安心して生活できるまちづくりを推進する必要がある。
- ・既存公園の適切な維持管理や改修・再整備を行うことで公園の魅力向上を図り、居住者の「憩い」「レクリエーション」「コミュニケーション」の場の提供を推進する。
- ・100年に一度の豊川稲荷の御開帳が控える中、道路整備を中心としたハード整備を行い空間の高質化を図りつつ、受入体制を構築する必要がある。
- ・老朽化した公共施設が地区内に点在していることから、将来を見据えた長寿命化、再整備などの公共施設整備を推進する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

・第6次総合計画において、「道路交通の円滑化」として「道路の整備」が、「誰からも愛される緑地・公園」として「公園の整備」が、「安心して子どもを産み育てやすい環境」として「放課後児童クラブの運営」が、「安全・安心事業」として「交通安全対策の強化」、「防犯対策の推進」、「防災対策の強化」、「消防・救急体制の充実」が位置付けられている。

・平成21年8月に策定された新市基本計画において、「光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち」を新市の将来像として定めている。また、防犯・交通安全対策の強化等に努めることで「安全で快適な生活環境が整っています」、ゆとりある住環境の形成や都市基盤の計画的な整備等に努めることで「住み心地よいまちの空間が生み出されています」、まちの特徴を活かし観光や交流を通じた活力ある生活環境づくりなどにより「個性があり活力あるまちになっています」を、新市のまちづくりの目標としている。

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

- (1)人口減少、少子高齢化により機能低下が想定される都市機能がある中で、将来にわたり必要な機能を維持し、自動車を使わずに誰もが利用できるよう、鉄道の利便性を活かし、主要な鉄道駅周辺へ必要な都市機能を配置する。
- (2)市域を横断する名鉄豊川線や姫街道沿線の拠点周辺では、市外や市内各所からアクセスしやすい立地特性を活かし、全ての市民の生活を支え、多世代の交流を促進する都市機能を配置する。
- (3)後背地に豊かな自然が広がる拠点では、将来にわたり住民の交流や豊かな定住環境を支えることができるよう、周辺拠点との連携による機能補完も含め、必要な都市機能を効率的に確保する。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

本市立地適正化計画において、誘導施設及び各拠点における充足状況を整理している。
 本計画の計画区域に含まれる中心拠点のうち豊川地区の状況については、以下のとおり。
 ○維持・拡充(都市機能誘導区域に立地しておりその機能を今後も維持・拡充する)
 医療施設、通所・訪問系高齢者施設、通所・訪問系障害者福祉施設、通所・訪問系障害児福祉施設、幼稚園・保育所等、大規模小売店舗

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

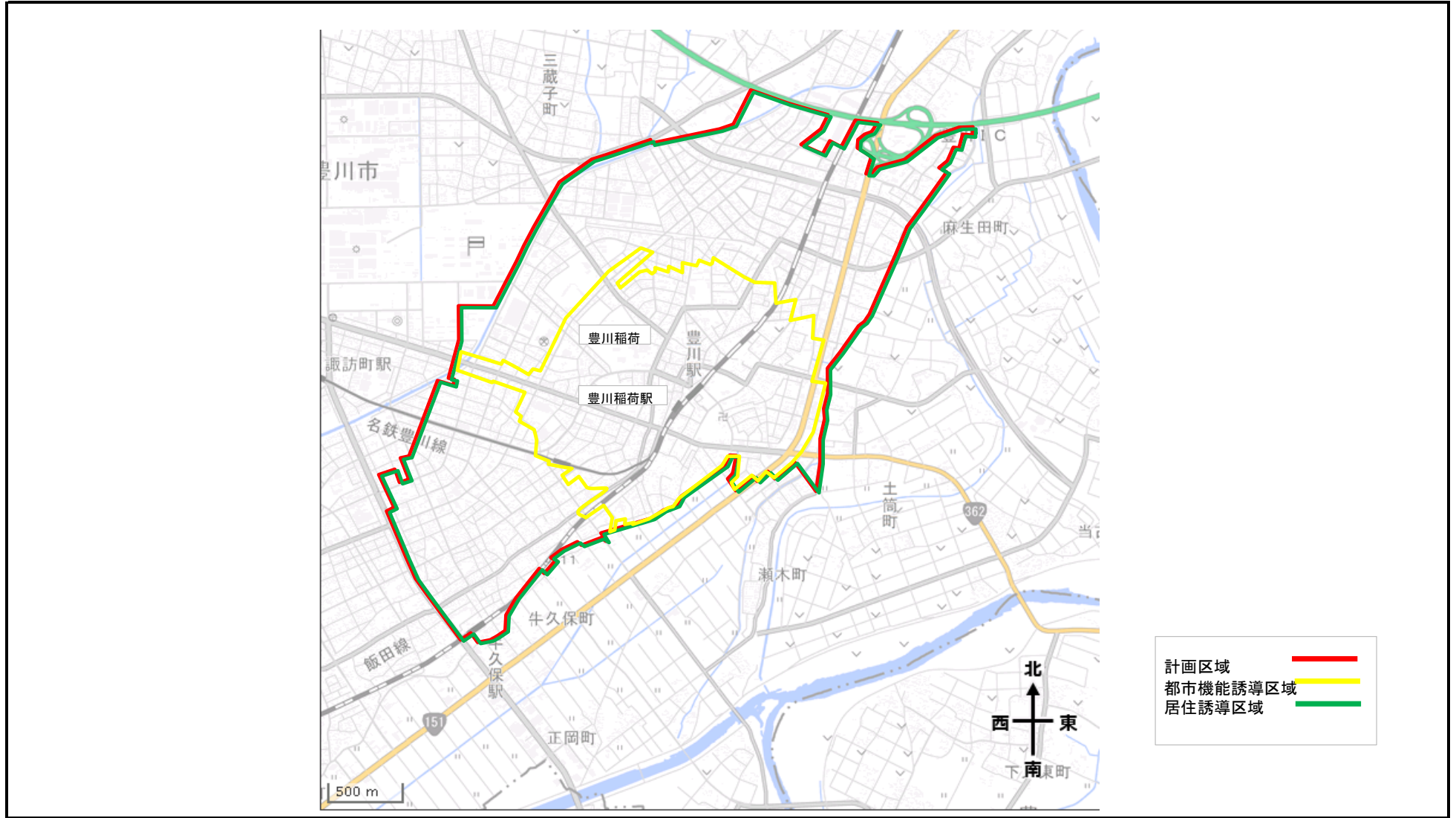
- ・居住地として便利で快適な居住空間及び都市空間としてにぎわいのある都市環境を確保するため、街路事業や土地区画整理事業等の都市基盤整備を実施する。
- ・既存公園の適切な維持管理や改修・再整備を行うことで公園の魅力向上を図り、居住者の「憩い」、「レクリエーション」、「コミュニケーション」の場の提供を推進する。
- ・居住地では落ち着いた空間を、商業地ではにぎわいを演出する空間の創造をめざし、既存の民有地緑化制度を活用するとともに、新たに景観計画の策定について検討し、本市の自然環境を活かした緑が映える良好な景観形成を推進する。
- ・通学路をはじめ、誰もが安全・安心に移動できる歩行空間を確保する。
- ・市民生活等を支える公共施設や道路等の都市基盤の安全性や機能を持続的に確保していくため、長期的な視点をもって、公共施設等の更新・統廃合・長寿命化を総合的かつ計画的に推進する。
- ・地域のコミュニティの拠点となる箇所の整備に対して支援を行う。

目標を定量化する指標

| 指 標 | 単 位 | 定 義 | 目標と指標及び目標値の関連性 | 従前値 | 基準年度 | 目標値 | 目標年度 |
|---------------------|------|---|---|-----------|------|-----------|------|
| | | | | | | | |
| 地区内人口の維持 | 人 | 地区内における小学校区人口の増減 | 豊川市立地適正化計画において、拠点地区の人口の維持を目標としていることから、定住人口の推移を示す指標として、地区を含む小学校区人口を指標とする。 | 47,609 | R5 | 47,609 | R10 |
| 鉄道駅利用者数の増加 | 人 | 名鉄豊川稲荷駅及びJR豊川駅の年間乗車人数の増減 | 豊川市立地適正化計画において、主要な鉄道駅の乗車人数の増加を目標としていることから、鉄道駅利用者数の推移を示す指標として、名鉄豊川稲荷駅及びJR豊川駅の年間乗車人数を指標とする。 | 1,846,761 | R5 | 1,863,381 | R10 |
| 安全・安心分野に関する市民満足度の向上 | ポイント | 市民意識調査のうち、安全・安心分野等(交通安全対策等)に係る市民満足度の合計値 | 魅力あふれる都市空間の形成を目標としていることから、市民のまちづくりに対する満足度を示す指標として、市民意識調査の結果をポイント化し指標とする。 | 7,582 | R5 | 8,974 | R10 |
| 建設・整備分野に関する市民満足度の向上 | ポイント | 市民意識調査のうち、建設・整備分野(住環境の整備等)に係る市民満足度の合計値 | 魅力あふれる都市空間の形成を目標としていることから、市民のまちづくりに対する満足度を示す指標として、市民意識調査の結果をポイント化し指標とする。 | 22 | R5 | 1,704 | R10 |

| 計画区域の整備方針 | 方針に合致する主要な事業 |
|---|--|
| <p>・中心拠点にふさわしい、コンパクトで魅力あふれる都市空間の形成 地域の特性を活かし、基盤整備や生活サービスの生活利便性の高い、活力とにぎわいのあるまちづくりを進める。</p> | <p>【基幹事業】 公園(稲荷公園) 公園(桜ヶ丘公園) 公園(1号公園(仮称)) 地域生活基盤施設(情報板)(観光案内板) 高質空間形成施設(緑化施設等)(東三河環状線:ストリートファニチャーモニュメント) 高質空間形成施設(緑化施設等)(門前通り:カラー舗装・石畳) 高質空間形成施設(歩行支援施設)(豊川駅東西自由通路エレベーター) 高質空間形成施設(歩行支援施設、障害者誘導施設等)(牛久保駅前トイレ)</p> <p>【提案事業】 安全・安心事業 豊川駅東駐車場利便性向上事業 豊川駅自転車駐車場利便性向上検討調査事業 まちづくりワークショップ まちづくりモニタリング事業(社会実験)</p> <p>【関連事業】 豊川市拠点地区定住促進事業費補助金 豊川市都市機能立地促進事業費補助金 豊川駅東土地区画整理事業 区画道路事業((都)豊川牧野線) 無電柱化推進事業((都)前田豊川線) 豊川駅東西自由通路再整備事業 ファザード整備事業</p> |
| <p>・安全・安心に暮らし続けられる生活環境づくり 地域住民の安全性、居住性等を確保するために、道路、公園等の公共施設の改善と土地利用の効率化を推進する基盤整備事業等を行う。</p> | <p>【基幹事業】 道路(中条小松山道二丁目線) 公園(稲荷公園) 公園(桜ヶ丘公園) 公園(1号公園(仮称)) 高質空間形成施設(緑化施設等)(東三河環状線:ストリートファニチャーモニュメント) 高質空間形成施設(緑化施設等)(門前通り:カラー舗装・石畳) 高質空間形成施設(歩行支援施設)(豊川駅東西連絡橋エレベーター) 高質空間形成施設(歩行支援施設、障害者誘導施設等)(牛久保駅前トイレ)</p> <p>【提案事業】 安全・安心事業 公園整備ワークショップ 豊川駅自転車駐車場利便性向上検討調査事業 まちづくりワークショップ まちづくりモニタリング事業(社会実験)</p> <p>【関連事業】 豊川駅東土地区画整理事業 区画道路事業((都)豊川牧野線) 無電柱化推進事業((都)前田豊川線) 豊川駅東西自由通路再整備事業</p> |
| <p>・にぎわいの創出に資する基盤整備の実施 100年に一度の豊川稲荷の御開帳に合わせ、道路整備を中心としたハード整備を行う。</p> | <p>【基幹事業】 公園(稲荷公園) 公園(桜ヶ丘公園) 公園(1号公園(仮称)) 地域生活基盤施設(情報板)(観光案内板) 高質空間形成施設(緑化施設等)(東三河環状線:ストリートファニチャーモニュメント) 高質空間形成施設(緑化施設等)(門前通り:カラー舗装・石畳) 高質空間形成施設(歩行支援施設)(豊川駅東西自由通路エレベーター)</p> <p>【提案事業】 豊川駅東駐車場利便性向上事業 まちづくりワークショップ まちづくりモニタリング事業(社会実験)</p> <p>【関連事業】 豊川駅東土地区画整理事業 区画道路事業((都)豊川牧野線) 無電柱化推進事業((都)前田豊川線) 豊川駅東西自由通路再整備事業 ファザード整備事業</p> |
| <p>その他</p> | |

| | | |
|------------------------|------------------------|---|
| <p>豊川駅周辺地区(愛知県豊川市)</p> | <p>面積 681.3 ha</p> | <p>区域 東塚町、大塚町、新豊町、東名町、曙町、小塚町、東広通、開通、稲荷通、駅前通、千歳通、美和通、豊栄町、東光町、西豊町、東豊町、東桜木町、東新町、光陽町、天神町、豊川西町、豊川中町、門前町、西本町、豊川栄町、豊川元町、豊川町、旭町、西塚木町、桜ヶ丘町、緑町、若鳩町、若宮町、幸町、北浦町、金屋元町、金屋本町、金屋町、新宿町、二見町、松風町、吉宿町、花井町、山道町、金塚町、塔ノ末町、光輝町の金城及び本野分原町、豊が丘町、大橋町、谷川町、牧野町、住吉町、馬場町、佐土町、白雲町、美幸町、中条町、牛久保町、金屋西町、金屋橋町、赤代町、松久町、明野町、桜木通、中央通、牛久保駅通、南大通の一部</p> |
|------------------------|------------------------|---|



| | |
|----------|---|
| 計画区域 | — |
| 都市機能誘導区域 | — |
| 居住誘導区域 | — |